

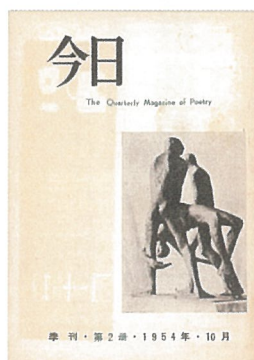
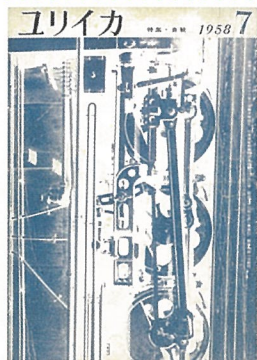
コレクション・戦後詩誌

第Ⅰ期・全20巻

〔監修〕和田博文 東洋大学教授

戦後30年間に発行された、
代表的な稀覯詩誌をトータルに俯瞰する
初の集成。





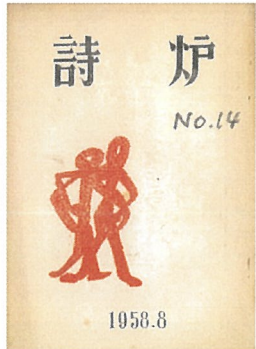
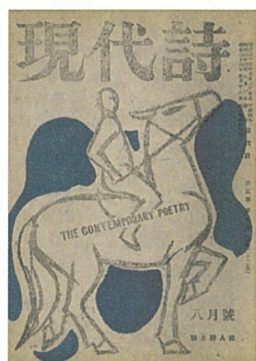
刊行のことば

一九四五年から始まる戦後以降の時代は、すでに七〇年間に越えて、明治・大正・昭和戦前期を合わせた時間に近づこうとしている。また日本の詩の歴史の出発点を、一八八二年の『新体詩抄』に求めるなら、戦後以降の詩の歴史は、それ以前の詩の歴史よりすでに長くなっている。にもかかわらず戦後詩の研究があまり進展せず、大学の詩の講義や演習で、中原中也・萩原朔太郎・宮沢賢治が中心化されているのは、戦後詩研究の基礎が十分に構築されていないためだろう。

戦後詩に詩誌の側からアプローチしようとするとき、私たちは意外なほど、図書館が詩誌を所蔵していないという事態に直面する。『コレクション・戦後詩誌』第一期・第二期全四〇巻は、一九四五年～一九七五年の三〇年間に発行された詩誌を、トータルに俯瞰できるように企画している。一九二〇年～

一九四四年の詩誌を復刻した『コレクション・都市モダニズム詩誌』全三〇巻に接続すれば、半世紀を越える詩誌の歩みが姿を現す。それは単独の雑誌の復刻とはまったく異なる視界を、私たちにもたらしはすである。

戦場や空襲下で生死の境をくぐり抜けた詩精神は、実存的な言葉の地平や、思想的な詩学の高みを目指していった。焼け跡や闇市、戦争責任やシベリア抑留、民主主義や社会主義、フェミニズムなどの、さまざまな問題系がそこに浮上する。さらに後続する戦後詩第二世代の詩人は、新しい出版文化の登場に支えられながら、感受性を広げる言語宇宙の探索に旅立っていった。このシリーズの刊行を一つの契機として、詩の研究の未だ明らかになっていないステージが、拓けてくることを願っている。



東洋大学教授 和田博文

コレクション・ 戦後詩誌

第Ⅰ期・全20巻

ユリイカ 特集 バステルナーウ詩集 12



全巻の構成

本シリーズの特色

- 第Ⅰ期では一九四五年～一九七五年に刊行された代表的な稀覯詩誌中、全二〇誌・約三五五冊(予定)を集成する。
- 第Ⅰ期・第Ⅱ期の完成によって、戦前(一九二〇年～一九四四年)の詩誌「コレクション・都市モダニズム詩誌」(全三〇巻)と接続して半世紀にわたる大稀覯詩誌集成が完成する。
- 本シリーズの刊行を機に、未だ明らかになっていないステージの詩の研究が拓けてくる。
- 刊行に際し利用の便に供するため、新たに各テーマごとに「エッセイ」「関連年表」「解題」「人名別作品一覧」及び「主要参考文献」を附す。

『純粹詩』(後続誌『造形文学』)は福田律郎、小野蓮司、秋谷豊などによって創刊。戦後詩の起点ともいえる存在で、後の『荒地』『列島』などの発端ともなった。

① 荒地からの出発 I

和田博文編

◆『純粹詩』第1巻1号～10号(一九四六・三・三、全27冊、純粹詩社)

② 荒地からの出発 II

和田博文編

◆『純粹詩』第2巻1号～12号

(一九四七・一・三、全12冊、純粹詩社)

③ 荒地からの出発 III

和田博文編

和田博文編



◆『団続地』第1号～10号

(一九四五・七・一九五九・三、全10冊、知覚社)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献

『ロシナンテ』『ペリカン』はともに石原吉郎が寄稿していた詩誌。『ペリカン』は多彩な執筆陣で知られる。

④ シベリアからの帰還者

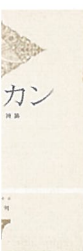
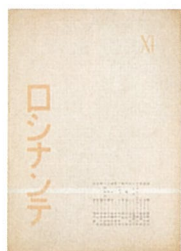
野坂昭雄編

◆『ロシナンテ』第4、5、8～13、16～20号

(一九五〇・四・一九五九・三、全19冊、ロシナンテ詩話会)

◆『ペリカン』第1、3、4、7～11、15号

(一九六〇・九・一九七二・三、全15冊、マントナクラブ)



◆『純粋詩』第3巻1号〜5号

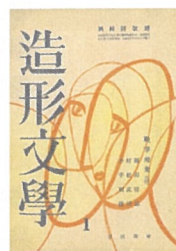
(一九四八・二・八、全5冊、純粋詩社)

◆『造形文学』第28輯(第3巻第6号)〜34輯

(一九四八・九〜一九四九・一〇、全7冊、市民書肆)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



『近代詩苑』は岩佐東一郎、北園克衛が編集を担当。戦後初の総合詩誌。3冊で終刊となるも、後続誌『ゆうつとびあ』が刊行された。『女性詩』(女性詩発行所)は『近代詩苑』より分離した雑誌。編集発行人の中村千尾は引き続き『女性詩』(日本女詩人会)を刊行した。

4 女性詩の展開

井原あや編

◆『近代詩苑』第1号〜3号

(一九四六・一・四、全3冊、

近代詩苑社)

◆『女性詩』第1号(一九四六・四、全1冊、女性詩発行所)

◆『ゆうつとびあ』第1巻1号〜3号、第2巻1号〜3号

(一九四六・九〜一九四七・四、全6冊、岩谷書店)

◆『女性詩』第1号〜5号

(一九五〇・六〜一九五二・六、全5冊、日本女詩人会)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



『現代詩』は、戦後の時期に5年の長きに亘り30冊以上を刊行。新旧モダンニズム詩人の活躍の場となった。

5 戦前詩人の結集 I

大川内夏樹編

◆『現代詩』第1巻1号〜10号、第2巻1号〜5号、

第3巻1号〜3号

(一九四六・二〜一九四八・四、全18冊、詩と詩人社)

6 戦前詩人の結集 II

大川内夏樹編

◆『現代詩』第3巻4号〜第4巻1号〜5号

(一九四八・五〜一九四九・五、全12冊、詩と詩人社)



◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献

12 感受性の海へ

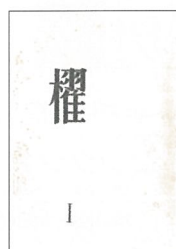
杉浦 静編

◆『權』第1号〜22号(一九五三・五〜一九五五・三、全22冊、權の会)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献

茨木のり子、川崎洋によって創刊。戦後第二世代を彩る重要詩人が寄稿する。



13 戦後詩第二世代

棚田輝嘉編

◆『氾』第1号〜16、19号

(一九五四・四〜一九七三・三、全19冊、氾書林)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



『今日』には、平林敏彦、飯島耕一、清岡卓行、大岡信などが参加した。『葡萄』は創刊20周年となる一九七五年までを復刻。

14 新しいリアリズムの模索

澤 正宏編

◆『今日』第1号〜10号

(一九五四・六〜一九五八・三、全10冊、書肆ユリイカ)

◆『葡萄』第1号〜12号

(一九五四・一〇〜一九五七・六、全12冊、葡萄発行所)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献

15 個性の実験場

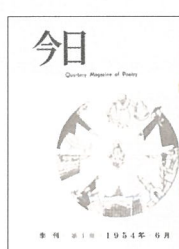
國生雅子編

◆『葡萄』第13号〜36号

(一九五七・二〜一九五八・三、全24冊、葡萄発行所)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献

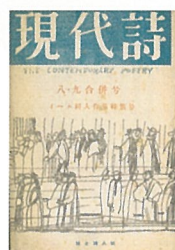


⑦戦前詩人の結集Ⅲ

大川内夏樹編

◆『現代詩』第4巻6号〜第11号、第5巻1号、2号
(一九四六・一九四七、全7冊、詩と詩人社)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧◇主要参考文献



『列島』は、『荒地』と二天エコールを形成した戦後における重要な詩誌。『詩人会議』は近藤東。竹中久七らが結成した前衛詩人同盟の機関誌である。

⑧社会主義リアリズムの系譜

鈴木貴宇編

◆『列島』(一九五二・一九五三、全12冊、葦会内列島)

◆『詩人会議』第1巻1号〜3号、第2巻1号〜4号、第3巻1号〜3号、第4巻1号(一九四七・一九五〇、全11冊、前衛詩人連盟)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



『詩炉』創刊時の中心メンバーは黒田喜夫。安食昭典・木村迪夫といった山形の詩人たちによるサークル詩である。

⑨大衆とサークル誌

竹内栄美子編

◆『詩炉』第1、4、6、8、10、18、20号
(一九五二・一九五三、全20冊、詩炉社)

◆『詩炉通信』第1号〜5号
(一九六二・一九六三、全6冊、詩炉の会)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



広島を拠点とする『知覚』は、『荒地』の超克を目指し(鮎川信夫も詩を寄せている)。後続誌『圍繞地』には『荒地』関係の寄稿も多く見られる。

⑩形而上的な問い

加藤邦彦編

◆『知覚』第1号〜5号
(一九五三・一九五四・一九五五、全5冊、知覚発行所)



伊達得夫の書肆ユリイカから刊行された詩誌『ユリイカ』(一九六一年二月)は、昭和20〜30年代の詩壇を牽引した。

⑬戦後詩の推進者Ⅰ

正田雅昭編

◆『第一次ユリイカ』第1巻1号〜第2巻8号
(一九五二・一九五三、全11冊、書肆ユリイカ)

⑭戦後詩の推進者Ⅱ

正田雅昭編

◆『第一次ユリイカ』第2巻9号〜第3巻7号
(一九五七・一九五八、全11冊、書肆ユリイカ)

⑮戦後詩の推進者Ⅲ

正田雅昭編

◆『第一次ユリイカ』第3巻8号〜第4巻6号
(一九五八・一九五九、全11冊、書肆ユリイカ)

⑯戦後詩の推進者Ⅳ

正田雅昭編

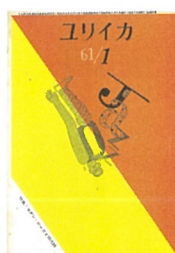
◆『第一次ユリイカ』第4巻7号〜第5巻5号
(一九五九・一九六〇、全11冊、書肆ユリイカ)

⑰戦後詩の推進者Ⅴ

正田雅昭編

◆『第一次ユリイカ』第5巻6号〜第6巻2号
(一九六〇・一九六一、全9冊、書肆ユリイカ)

◎エッセイ◇関連年表◇解題◇人名別作品一覧
◇主要参考文献



コレクション・戦後詩誌

和田博文監修 第Ⅰ期・全20巻



●全20巻揃定価：本体500,000円＋税（各本体25,000円） ISBN978-4-8433-5059-1 C3392 A5判／上製

★第1回・全4巻 発売中・2016年10月刊 ■揃定価：本体100,000円＋税 ISBN978-4-8433-5060-7 C3392

- | | | |
|---------------|-------|-----------------------|
| ●第1巻 荒地からの出発Ⅰ | 和田博文編 | ISBN978-4-8433-5067-6 |
| ●第2巻 荒地からの出発Ⅱ | 和田博文編 | ISBN978-4-8433-5068-3 |
| ●第3巻 荒地からの出発Ⅲ | 和田博文編 | ISBN978-4-8433-5069-0 |
| ●第4巻 女性詩の展開 | 井原あや編 | ISBN978-4-8433-5070-6 |

★第2回・全3巻 2017年2月刊行予定 ■揃定価：本体75,000円＋税 ISBN978-4-8433-5061-4 C3392

- | | | |
|---------------|--------|-----------------------|
| ●第5巻 戦前詩人の結集Ⅰ | 大川内夏樹編 | ISBN978-4-8433-5071-3 |
| ●第6巻 戦前詩人の結集Ⅱ | 大川内夏樹編 | ISBN978-4-8433-5072-0 |
| ●第7巻 戦前詩人の結集Ⅲ | 大川内夏樹編 | ISBN978-4-8433-5073-7 |

★第3回・全3巻 2017年7月刊行予定 ■揃定価：本体75,000円＋税 ISBN978-4-8433-5062-1 C3392

- | | | |
|-------------------|--------|-----------------------|
| ●第8巻 社会主義リアリズムの系譜 | 鈴木貴宇編 | ISBN978-4-8433-5074-4 |
| ●第9巻 大衆とサークル誌 | 竹内栄美子編 | ISBN978-4-8433-5075-1 |
| ●第10巻 形而上的な問い | 加藤邦彦編 | ISBN978-4-8433-5076-8 |

★第4回・全3巻 2017年12月刊行予定 ■揃定価：本体75,000円＋税 ISBN978-4-8433-5063-8 C3392

- | | | |
|------------------|-------|-----------------------|
| ●第11巻 シベリアからの帰還者 | 野坂昭雄編 | ISBN978-4-8433-5077-5 |
| ●第12巻 感受性の海へ | 杉浦 静編 | ISBN978-4-8433-5078-2 |
| ●第13巻 戦後詩第二世代 | 棚田輝嘉編 | ISBN978-4-8433-5079-9 |

★第5回・全2巻 2018年5月刊行予定 ■揃定価：本体50,000円＋税 ISBN978-4-8433-5064-5 C3392

- | | | |
|-------------------|-------|-----------------------|
| ●第14巻 新しいリアリズムの模索 | 澤 正宏編 | ISBN978-4-8433-5080-5 |
| ●第15巻 個性の実験場 | 國生雅子編 | ISBN978-4-8433-5081-2 |

★第6回・全5巻 2018年10月刊行予定 ■揃定価：本体125,000円＋税 ISBN978-4-8433-5065-2 C3392

- | | | |
|----------------|-------|-----------------------|
| ●第16巻 戦後詩の推進者Ⅰ | 疋田雅昭編 | ISBN978-4-8433-5082-9 |
| ●第17巻 戦後詩の推進者Ⅱ | 疋田雅昭編 | ISBN978-4-8433-5083-6 |
| ●第18巻 戦後詩の推進者Ⅲ | 疋田雅昭編 | ISBN978-4-8433-5084-3 |
| ●第19巻 戦後詩の推進者Ⅳ | 疋田雅昭編 | ISBN978-4-8433-5085-0 |
| ●第20巻 戦後詩の推進者Ⅴ | 疋田雅昭編 | ISBN978-4-8433-5086-7 |

関連企画

コレクション・都市モダニズム詩誌 全30巻

[監修] 和田博文（品切：第4巻～第7巻）

●各巻定価：本体25,000円＋税

すべてのモダニズム文化の発火点が詩雑誌だった。代表的な都市モダニズムの稀覯詩誌をテーマ別に集成。



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6

TEL.03 (5296) 0491

FAX.03 (5296) 0493

http://www.yumani.co.jp/

e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方

大学図書館・公共図書館・近代文学、演劇、美術、映画、風俗史、メディア史などの研究者・研究機関ほか。

ゆまに書房 Tel.03 (5296) 0491/Fax.03 (5296) 0493 年 月 日

コレクション・戦後詩誌 第Ⅰ期・全20巻

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| ☐ 第1回・全4巻 | ☐ 第2回・全3巻 | ☐ 第3回・全3巻 |
| ☐ 第4回・全3巻 | ☐ 第5回・全2巻 | ☐ 第6回・全5巻 |

セット

ご注文書

お名前

ご住所

TEL ()

取扱店

※ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

16.10/01.7000RS